

いたかりよくち 猪高緑地のタケノコ

めいとうしぜんくらぶ
名東自然倶楽部

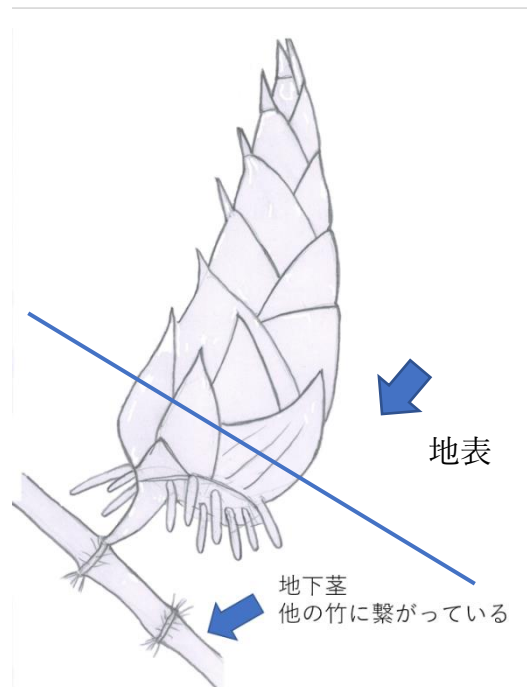
猪高緑地には大きな竹が3種類生えています。モウソウチク、マダケ、ハチクの3種類です。

今日の竹はモウソウチク(孟宗竹)のタケノコです。日本に自生する竹の中で一番大きくなる竹です。江戸時代に中国から日本に導入されました。竹の中で一番大きなタケノコができ、且つ竹の中では簡単に美味しく食べられるタケノコです。

タケノコは地下茎から生えてきます。地下茎で繋がった竹から栄養を貰えるので急速に大きくなります。2-3ヶ月でその竹特有の高さに成長します。その結果、太陽光を一気に得ることができ、他の植物が生えるのを押さえてしまいます。竹だけの生物多様性に乏しい植生になってしまいます。

その為、タケノコを適度に採って竹林の整備を行っています。希少種と同じ所に生えていたり、危険な場所だったり、採り過ぎてしまったり、色々な問題が生じます。その為もある、勝手に採ると、法律で罰せられます。

今日のタケノコは竹林管理の為に採ったタケノコです。味わって食べて頂きます様お願いいたします。



きょうどう
協働

株式会社サンゲツ サンゲツグループボランティアクラブ

ちゅうぶでんりよく かんきょう
中部電力株式会社 総務・広報・地域共生本部環境グループ